

# 東邦大学医療センター大森病院

## からだのとしょしつ だより

15号 2013/12/02



【資料の紹介】 おすすめの一冊

### 「抗がん剤治療中の生活ケア BOOK」

中川靖章（日赤医療センター化学療法科）監修  
実業之日本社 2013 A5版 165頁

- 化学療法を受ける際に避けて通れない副作用について、症状別にアドバイスと注意する点が紹介されています。
- 副作用やセルフケアの方法を理解することで、生活の質（QOL）を高めながら、闘病意欲を維持していただきたいという思いで、医師、看護師、薬剤師、栄養士が生活全般についてアドバイスしています。
- 快方に向かっている患者さんの体験を知ること治療の大きな助けになります。“医師に自分の症状を伝えるためのテクニック”や“治療中の勤務についての職場への説明のしかた”などの体験に基づく情報も。(I.O.)

## 「ほっとサロンいだ」見学会報告

2013年11月11日(月)の午後、「からだのとしょしつ」で活動中のボランティア4人と司書が川崎市立井田病院のボランティア活動を見学した。井田病院はボランティア活動に長い歴史があり、学ぶべき点多々であった。

### 展望絶佳な「ほっとサロンいだ」

井田病院の図書ボランティアの本拠は、7階の展望ラウンジにある。名付けて「ほっとサロンいだ」。井田病院は「井田山」と呼ばれる丘の上にある。「ほっとサロンいだ」は最上階にあるので展望が良い。患者の自宅や生活圏である武蔵小杉、日吉などが見下ろせるし、鶴見の総持寺、つばさ橋、みなとみらいのランドマークタワーなどから富士山まで遠望できる。病気も早く良くなりそうだ。

### がんサロンは夕方から

「ほっとサロンいだ」で行われる催しに「がんサロン」がある。がん患者やその家族が、緩和ケア医、がん専門看護師、がん相談員、ボランティアなどを囲んで、日常の悩みや不安などを自由に話し合う。月2回の開催日のうち1回は夕方6時からに設定されている。務めや家事で日中來られない患者家族への配慮だ。

### ボランティア主催の集まり

この日行われていた「日本茶をたのしむ会」は、急須で淹れたおいしいお茶が陶器の茶碗で出される。小さな干菓子と金平糖が添えられている。月2回行われる。すべて無料だ。ほかに「ハーブをたのしむ会」もある。ボランティアの自宅で栽培したハーブを使ったハーブティーを飲んだり、患者さんの手をハーブを入れたお湯でマッサージする（アロママッサージ）。

## 患者主催の「スペース・ノヴァ」

回復した元患者から話を聞いたり、よい医療へのかかり方を話し合う。臨床心理士の資格を持つボランティアも参加する。「ピンクリボンサークル」も患者主催の催しだ。乳がん患者の集まりで、乳腺外科の医師も参加する。

他に市民公募や業者主催の日替わりプログラムも月1回程度開かれる。11月は「頭皮ケア・ウィッグセミナー」だ。

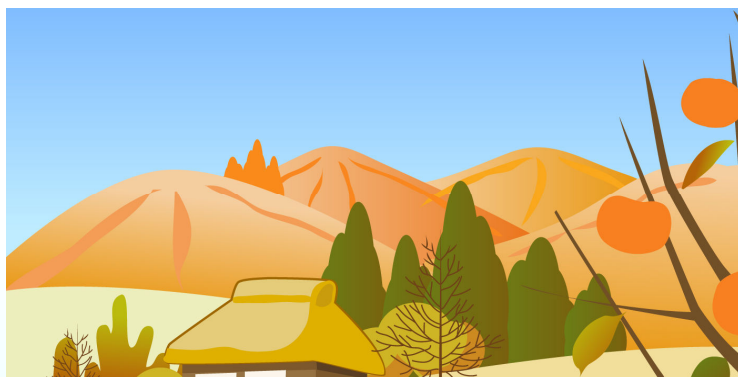
## この病院はボランティアが守る！

「ほっとサロンいだ」は、4人の病院スタッフと9人のボランティアが担当している。

ボランティアのKさんは5年、Eさんは10年というベテランだ。有名な病院のボランティア講習会などでも勉強した。井田病院にもボランティア講習会があり、受講者は修了書がもらえる。

一日10人のボランティアが井田山を登ってくる。イベント時には30人が集まる。井田病院のボランティアたちは、「この病院は私たちが守る」と言っている。

(東邦大学医療センター大森病院ボランティア T.M.)



## ◆なのはな文庫のご案内◆

◇毎週火曜日の午後、病棟のデイルームや外来待合エリアなどを巡回して、本棚の本の整理をしたり、新しい本を補充するボランティア活動です。

◇一人でも多くの患者さんに、本を読まれることで日々の時間に安らぎと癒しを感じて頂けたらと思って活動しています。

◇なのはな文庫の活動は、からだのとしょじつボランティア活動の一環としておこなわれています。

◇医学情報が欲しいときは、からだのとしょじつ、医学書でない、ふつうの本が読みたいときは、なのはな文庫をご利用ください。

## ◆囲碁・将棋のお相手◆

◇今年から、入院患者さんの囲碁・将棋のお相手をするボランティアグループが活動を開始しました。

◇対局を希望される患者さんは、病棟師長にお申し出ください。

編集・発行：からだのとしょじつ

東邦大学医療センター大森病院 2号館 3階

開室日時：9:30-16:30 第3土・日・祭日、年末年始はお休みです。

WEB版「からだのとしょじつ」でも資料と探し方のご案内をしています。

<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/>